

# — 松戸市消防のあゆみ —

## 松戸市消防のあゆみ

明治27年	2月		消防組規則公布
明治27年	7月		消防組規則施行細則公布
明治31年	7月		消防規則発令(千葉県令32号)
明治38年	11月		松戸町消防組設置
昭和14年	4月	1日	警防団令が公布され消防組と防護団を統合して松戸町警防団を組織
昭和18年	4月	1日	松戸市制施行
〃	6月	1日	警防団常備消防部を設置
昭和22年	11月	3日	松戸市消防団を設置、初代消防団長に倉田保就任 警防団常備消防部を消防団常備部に改正
昭和23年	3月	7日	消防組織法施行
昭和26年	12月	28日	松戸市消防団条例を制定
昭和29年	11月	1日	消防団常備部を廃し、県下7番目の消防本部として、消防本部、消防署を設置、消防職員28名、消防車3台で発足、初代消防長に朝日出喜六就任
〃	12月	20日	東葛市の一部(旧小金町)との合併により、現在の消防団の骨格が整う
昭和31年	12月	20日	小金分遣所設置、消防職員12名、消防車1台で発足
〃	6月	1日	消防用無線開通 基地局1基、移動局2基
昭和32年	6月	1日	119番通報の自動ダイヤル化
昭和33年	4月	1日	職員定数43名
昭和34年	4月	1日	職員定数55名 第2代消防長に鈴木千秋就任
〃	5月	30日	矢切分遣所設置、消防職員12名、消防車1台で発足
〃	11月	20日	松戸市消防署に救急班を設置
昭和35年	4月	1日	職員定数57名
〃	4月	5日	松戸市危険物安全協会創立、会員160名
昭和36年	10月	23日	第1回防火管理者講習会を開催
昭和37年	4月	1日	職員定数66名
昭和38年	4月	1日	職員定数77名
昭和39年	4月	1日	職員定数87名
〃	6月	23日	救急班を救急隊に改称
〃	10月	27日	松戸市防火協会創立、会員192名
昭和40年	4月	1日	職員定数90名
〃	5月	15日	消防本部の機構改革に伴い松戸市消防署を松戸市中央消防署に改称
〃	5月	15日	小金分遣所を署、矢切分遣所を分署に昇格
〃	5月	15日	小金消防署合同庁舎完成、消防車2台、消防職員27名に拡大
〃	10月	3日	小金消防署に屈折はしご車を新規導入
〃	12月	11日	中央消防署に化学消防自動車を新規導入
昭和41年	4月	1日	職員定数102名
〃	5月	21日	西口分署を設置
〃	〃	〃	消防本部、中央消防署仮庁舎を西口分署に仮移転
〃	10月	1日	第2代消防団長に石川勇三就任
〃	10月	14日	松戸1855番地(松戸駅西口密集地)の火災で消防職員1名殉職
昭和42年	4月	1日	職員定数114名

## 松戸市消防のあゆみ

昭和42年	4月1日	消防音楽隊結成、隊員30名で発足
〃	6月1日	消防団方面隊制を制定、5方面隊24ヶ分団の組織
〃	6月23日	消防本部、中央消防署合同庁舎開設
昭和43年	4月1日	職員定数117名
〃	5月2日	第3代消防長に柳井清就任
昭和44年	4月1日	職員定数142名
〃	7月15日	五香消防署設置、消防車2台、消防職員21名で発足 機構改革 消防本部総務、警防、予防の3係を課に昇格〔3課6係1室〕
昭和45年	4月1日	職員定数187名
〃	〃	西口分署を消防署に昇格、消防車3台、救急車1台、指揮車1台、消防職員31名に拡充
〃	〃	消防団員の定数610名に減員
〃	8月25日	中央消防署にはしご付消防ポンプ自動車を新規導入
〃	9月1日	防災総合訓練(県・市共催)、参加33機関、1,372名、車両186台、場所松戸市運動公園予定地
昭和46年	4月1日	職員定数200名
〃	6月23日	消防吸排処理車1台購入、五香消防署に配置
〃	11月1日	特別救助隊設置、隊長2名、隊員10名
昭和47年	1月6日	松戸市消防旗を制定
〃	3月4日	消防本部・団に千葉県知事より優秀表彰旗授与
〃	4月1日	職員定数を211名
〃	4月28日	マイクロバス1台を配置
〃	11月15日	中央消防署に救助工作車を新規導入
昭和48年	4月1日	職員定数220名
〃	7月1日	二十世紀が丘消防署設置、消防車2台、救急車1台、職員27名配置
〃	8月1日	自治会防火推進月間
〃	9月21日	全国消防救助技術大会に始めて参加
〃	11月1日	第4代消防長に蕨崎貴助就任
昭和49年	1月20日	救急指令装置(B型)を設置
〃	4月1日	職員定数270名
〃	〃	婦人消防官6名採用
〃	8月7日	東葛飾中部地区水防演習実施
〃	10月1日	西口消防署に特別救助隊を設置
昭和50年	4月1日	総務課に教養係を設置
〃	5月12日	第1回プロパンガス事故絶滅1万戸点検運動実施
〃	7月28日	中央消防署と小金消防署にミニ消防車を新規導入
〃	10月3日	消防団に無線受令機を新規導入開始
〃	12月1日	毎月1日を市民防火の日と制定
昭和51年	1月7日	松戸市消防歌制定
〃	7月23日	特定防火対象物指導会実施(改正法令等)
〃	8月29日	大震火災消防訓練実施(馬橋西口地区)
〃	11月5日	二十世紀が丘消防署に圧縮空気充填所を設置

## 松戸市消防のあゆみ

昭和51年	12月7日	児童防火ポスター展開催
昭和52年	2月25日	第30回東葛飾地方中学校駅伝競争大会記念行事において感謝状を授与される
〃	3月1日	消防本部に起震車を新規導入
〃	3月4日	消防本部・消防団に消防庁長官より竿頭綬が授与
〃	4月1日	職員定数296名
〃	5月27日	馬橋消防署設置、消防車1台、救急車1台、指揮車1台、職員21名
〃	7月1日	警防課に救助係を設置 小金消防署に特別救助隊を設置
〃	12月7日	消防本部、消防団が「県民の消防員」として団体表彰
昭和53年	3月16日	防火習字展開催
〃	4月1日	職員定数301名
〃	4月3日	第5代消防長に平野廣司就任
〃	7月13日	1都6県利根川水系連合水防演習を実施
〃	11月	第1回屋内消火栓操法大会を開催
昭和54年	1月20日	耐震性防火水槽(100m <sup>3</sup> )の新設を開始
〃	4月1日	職員定数324名
〃	4月2日	第1回救急隊員資格取得補充講習会を開催
〃	5月1日	機構改革 消防本部に企画管理官を置き、救急救助課を設置 〔1本部・1官・4課・1室・8係〕
〃	5月23日	六実消防署設置、消防車1台、ミニ消防車1台、救急車1台、指揮車1台、職員23名
〃	7月1日	松戸市ファイヤーシルクスを結成〔隊員11名〕
〃	9月1日	松戸市消防近代化推進委員会を発足〔委員会・6代表部会・7所属部会〕
〃	〃	目で見る消防のあゆみ展開催
昭和55年	1月5日	第1回新春防火かるた大会実施
〃	3月8日	東葛飾地区消防音楽隊合同防火パレード実施
〃	4月1日	職員定数341名
〃	〃	「松戸市消防本部」を「松戸市消防局」に改称
〃	〃	機構改革 指令室を通信指令課に昇格〔1局・1官・5課・12係〕
〃	4月1日	消防署の消防係を予防係と警防係に改正〔3係制〕
〃	8月20日	ガス事故防止3R運動実施
〃	10月8日	第1回消防技術競技会開催
〃	12月2日	第1回ガス災害対策合同訓練を実施
昭和56年	2月9日	消防団方面分団長制を採用
〃	4月1日	職員定数362名
〃	〃	機構改革 予防課に査察係設置(10名)
〃	6月9日	消防局に隊員輸送車を新規導入
〃	9月1日	第2回六都県市合同防災訓練、千葉県会場が松戸市で開催
昭和57年	4月1日	職員定数372名
〃	9月9日	「救急の日」「救急医療週間」制定に伴ない普及、啓蒙運動を実施
〃	10月1日	学校プール吸水装置を計画導入開始

## 松戸市消防のあゆみ

昭和57年	10月6日	第1回(財)千葉県消防協会東葛飾支部消防操法大会を金ヶ作公園で開催
昭和58年	1月25日	新庁舎業務開始、消防救急指令管制システムの運用開始
〃	4月1日	職員定数382名
〃	5月1日	第6代消防局長に中尾和就任
〃	6月29日	消防団にゴムボートを配置
〃	8月22日	二十世紀が丘消防署に照明電源車を新規導入
〃	12月21日	消防局に資機材搬送車を新規導入
〃	12月31日	第3代消防団長 布施博就任
昭和59年	3月2日	救急大災害訓練をダイエー新松戸店で実施
〃	3月15日	松戸市西口消防署新築工事完了
〃	4月1日	職員定数390名
〃	〃	4週5休制を実施
〃	〃	副署長の3部制を実施
〃	5月11日	消防局に防災指導車と救急指導車を新規導入
〃	10月1日	機構改革 企画管理官を企画管理室に、救急救助課を救急防災課に、通信指令課を指令課に改称〔1局・1室・5課・16係〕
〃	10月6日	松戸市消防救急30周年記念式典を消防局講堂で開催
〃	10月10日	松戸市消防救急30周年記念消防フェアを伊勢丹松戸店前で開催
〃	11月22日	消防警察合同演技大会を松戸市運動公園競技場で開催（シュワルツ博士の表敬訪問）
昭和60年	4月1日	職員定数412名
〃	〃	消防団組織の改革〔8方面隊・10中隊、35個分団・定数610名〕
〃	4月24日	消防団方面隊発隊式を松戸競輪場駐車場で開催
〃	5月4日	東部消防署設置、消防車1台、ミニ車1台、救急車1台、指揮車1台、職員26名
〃	9月1日	八ヶ崎に消防訓練場用地確保
昭和61年	3月3日	松戸市消防国際救助隊が発足
〃	11月9日	119番の日を制定
〃	12月5日	消防訓練場の名称を松戸市消防訓練センターとし、開所式を挙げる
昭和62年	3月1日	中央消防署に空気充てん車を新規導入
〃	6月14日	第4代消防団長に湯浅泰之助就任
昭和63年	4月1日	職員定数422名
〃	〃	第7代消防局長に加藤康夫就任
〃	〃	4週6休制実施
〃	8月18日	松戸市少年婦人防火委員会を設置〔少年消防クラブ1、婦人防火クラブ7〕
〃	11月1日	無線局呼び出し名称を変更し運用
〃	11月7日	指揮車をワゴン式に変更
〃	12月1日	自治体消防40年記念、松戸市消防大会を市民会館で実施
平成元年	3月20日	中国研修生を受入れ
〃	4月1日	消防局に総務、予防及び警防担当参事監を置く
〃	4月1日	兼務救助隊1隊を西口消防署に配置
〃	5月12日	松戸市消防訓練センター落成式典を実施

## 松戸市消防のあゆみ

平成元年	6月	救急隊員の制服改正
〃	7月1日	消防職員高齢化対策検討特別委員会を設置
〃	9月21日	消防局に輸送車(57人乗り)を新規導入
〃	10月5日	大規模列車事故対策訓練をJR松戸駅構内で実施
〃	10月14日	英会話研修を実施
〃	11月18日	消防団防火管理特別講習会を実施
〃	12月8日	自治体消防40周年記念論文集を発刊
平成2年	3月4日	90消防フェスティバルを消防訓練センターで実施
〃	4月1日	第8代消防局長に葛岡和夫就任
〃	4月18日	東京電力との専用線設置
〃	6月29日	個人用空気呼吸器面体を購入配置
〃	7月11日	第9回千葉県消防協会東葛飾支部消防操法大会を消防訓練センターで実施
〃	9月30日	消防団方面隊実戦訓練を実施
〃	10月1日	日勤副署長、指令課課長補佐の毎日勤務及び当直指令代行制の試行を実施
〃	10月9日	第13回屋内消火栓操法大会を3人操法に改正
〃	10月26日	警防査閲を実施
〃	12月17日	中央消防署に斜め横走行可能なはしご付消防自動車を更新配置
平成3年	4月1日	職員定数432名
〃	4月1日	第9代消防局長に川越昭義就任
〃	〃	第5代消防団長に花嶋誠就任
〃	6月4日	危険物安全の集いを開催
〃	10月1日	各消防署に防災指導員及び救急指導員の試行を実施
〃	〃	五香消防署に特別救助隊を配置
平成4年	3月1日	松戸市消防音楽隊25周年ドリームコンサートを開催
〃	3月2日	救急Ⅱ課程入校(松戸市初)
〃	4月1日	職員定数457名
〃	〃	松戸市防火協会支部制発足
〃	〃	防災指導員・救急指導員制度実施
〃	〃	消防団活性化広報員を任命
〃	4月10日	クラーク市警察署長歓迎式
〃	4月27日	松戸消防友の会創立
〃	4月28日	消防広報紙「消防だより」の発刊
〃	6月11日	ガス災害・集団救急事故対策合同訓練及び応急手当公開セミナーを松戸運動公園において実施
〃	7月13日	服制等検討委員会を設置
〃	8月20日	防災フェアちば'92を(株)伊勢丹松戸店で実施
〃	10月1日	大金平消防署設置 指揮車、水槽付消防ポンプ自動車、ミニ車、職員25名
〃	〃	松戸市消防団大金平方面隊が発足
〃	10月5日	わが街を守る消防団写真展(～12月1日まで)
〃	11月6日	松戸市消防局に救急救命士が誕生
〃	11月11日	消防団活性化対策検討委員会を設置
〃	11月26日	市民指導技術研究発表会を開催

## 松戸市消防のあゆみ

平成4年	12月18日	中央消防署に高規格救急車を新規導入
〃	12月27日	完全週休2日制実施
平成5年	1月1日	署の方面制を実施
〃	2月5日	消防機械器具等の改良開発研究発表会を開催
〃	4月1日	職員定数485名
〃	4月6日	国際消防救助隊の派遣集合訓練を実施
〃	7月28日	西口消防署に小型消防救助艇を新規配置
〃	8月1日	7か国語防災ガイド完成
〃	11月9日	21世紀の森と広場消防演習を実施
平成6年	3月15日	応急手当普及啓発活動実施要綱を定め、家庭救急員10万人体制を推進
〃	10月15日	まつど消防40周年記念式典を松戸市文化会館で挙行
〃	10月30日	まつど消防40周年記念消防フェスティバルを開催
平成7年	1月18日	阪神淡路大震災に救助隊を派遣
〃	4月1日	第10代消防局長に齋藤輝美就任
〃	〃	第6代消防団長に齋藤和實就任
〃	〃	女性消防吏員の救急隊員誕生
〃	5月16日	化学中隊発足
〃	6月30日	消防緊急援助隊発足
〃	10月1日	女性消防吏員の隔日勤務体制実施
〃	11月21日	市内企業自衛消防隊と消防活動の応援協定締結
平成8年	4月1日	職員定数511名
〃	〃	第11代消防局長に志村正信就任
〃	〃	機構改革 企画管理室と総務課を統合し総務課とし、企画係を企画調整係に、経理係を財務係に改称し、人事厚生係と教養監察係を統合し人事厚生係とし、警防課機械係を廃止し特殊災害係を新設 予防課査察係を査察調査係に改称 [1局・5課・14係] 消防署 庶務係を廃止し救急係を新設 予防係を日勤職員とする
〃	〃	松戸市地域防災リーダー及び地域防災協力員制度発足
〃	8月23日	札幌市で開催された全国消防救助技術大会に3チーム15名が出場し全チーム入賞
〃	10月1日	八ヶ崎消防署設置 指揮車（電光式災害標示装置付）消防車、ミニ車、救急車、職員29名
〃	〃	松戸市消防団八ヶ崎方面隊発足
〃	〃	災害対策車（クレーン付）を導入
〃	〃	震災対策用資機材として、スコップ84本、チェーンソー10基を消防団に配置
〃	10月30日	エジプト国ビル崩壊災害現場に国際消防救助隊員1名を派遣
〃	〃	〃
〃	11月6日	〃
〃	11月9日	消防まつりを消防訓練センターにて実施
〃	11月27日	救急自動車 三山氏より八ヶ崎消防署に寄贈
平成9年	1月26日	「放火のない明るいまちづくり運動」キャラバン隊による市内一斉予防指導

## 松戸市消防のあゆみ

平成9年	1月26日	の実施
〃	4月1日	消防署の無人化による現場部門の強化
〃	8月11日	三山氏から災害特殊工作車「さいぞう君」寄贈（中央消防署配置）
〃	8月12日	松戸市消防特別機動部隊の創設
〃	10月1日	松戸市消防団条例定数を640名に改正
〃	〃	女性消防団員30名採用（第36分団発足）
〃	12月25日	三山氏から高規格救急自動車寄贈（小金消防署配置）
〃	1月20日	「松戸市消防局警防規程」等の制定
〃	3月7日	自治体消防50周年記念事業「市民こぞって防火のつどい」開催 （市内居住の各種年齢層の方からの防火防災に対する意見発表等・イベント行事）
平成10年	3月20日	消防相互応援協定の全面改正 （東京都、市川市、流山市、三郷市、柏市、鎌ヶ谷市、沼南町）
〃	4月1日	第12代消防局長に斎藤政大就任
〃	5月11日	松戸市婦人防火クラブを松戸市女性防火クラブに改名 （松戸市幼少年女性防火委員会）
〃	6月1日	水難救助隊発足、水難救助資機材の導入
〃	6月18日	消防特別機動部隊訓練をJR東日本松戸電車区にて実施
〃	7月5日	「家庭救急員10万都市をめざして」の啓発事業で目標を達成 （応急手当講習会10万人達成）
〃	10月1日	移動系（携帯、自動車）の受信、転送の運用を開始する （松戸市、柏市、流山市、我孫子市、野田市、沼南町、関宿町）
〃	11月8日	消防まつり（消防訓練センター）
平成11年	1月21日	起震車（三代目）更新配置
〃	4月1日	第13代消防局長に伊藤 朗就任
〃	7月27日	千葉県消防操法大会で、ポンプ車操法（第20分団）小型ポンプ操法（第14分団）が揃って優勝
〃	8月19日	横浜市で開催された第28回全国消防救助技術大会に障害突破5名が出場し入賞
〃	9月1日	消防局玄関掲示板「イメージパネル」制作（松戸市金ヶ作中学校美術部により図案作成）
〃	9月21日	台湾地震災害に国際消防救助隊員2名を派遣
〃	9月28日	
〃	10月21日	横浜市で開催された第14回全国婦人消防操法大会で、第36分団が千葉県を代表して出場し、優良賞を受賞
〃	12月15日	コンピューター西暦2000年問題事故対応訓練を千葉西総合病院において実施
平成12年	2月10日	大規模災害対応高規格救急車配置（二十世紀が丘消防署配置）
〃	3月1日	上下型防火衣（スーツ式）を新規採用
〃	3月2日	聴覚障害者のための緊急時対応ビデオ「火災を知る」を制作し、松戸市ろうあ協会へ贈呈
〃	4月1日	新消防指令管制システム運用開始

## 松戸市消防のあゆみ

平成12年	4月1日	機構改革 総務課を企画管理室とし、企画調整係を総務係に、庶務係を管理係に改称〔1局・1室・4課・14係〕
〃	8月18日	第29回全国消防救助技術大会に3種目3チームが出場し入賞
〃	11月12日	消防まつり（訓練センター）
〃	12月23日	平成12年度年末・年始火災特別警戒出動式を実施
平成13年	4月1日	第14代消防局長に平舘征三就任
〃	〃	機構改革 消防局、消防署の組織及び事務分掌を改正 予防課の3係を保安係、査察調査係に統合、基幹消防署に予防係を設置し、その他各室・課・署の係を廃止 〔1局・1室・4課・10消防署・5係〕
〃	〃	松戸市消防局評価システム導入
〃	8月8日	東京都で開催された第30回全国消防救助技術大会に斜めブリッジ救助5名が出場し入賞
〃	10月26日	生物剤(炭疽菌等)災害対応訓練を実施
〃	12月4日	赤い救急隊(赤救)発足
平成14年	3月18日	消防局玄関掲示板「イメージパネル～雲にのってあそんだら～」制作(松戸市立中部小学校により図案作成)
〃	4月27日	消防まつり(訓練センター)
〃	7月31日	松戸市五香消防署改築工事完了
〃	8月23日	名古屋市で開催された第31回全国消防救助技術大会に引揚救助障害突破2チーム、計3チーム15名が出場し入賞
〃	11月1日	救急指導用資機材贈呈式(特別養護老人ホーム陽光苑より訓練用人形レサシアンモジュラーシステムスキルポータモデル2体寄贈)
平成15年	4月1日	第15代消防局長に大野正一就任 機構改革 基幹消防署に予防担当室を設置し、予防係を廃止 〔1局・1室・4課・10消防署・3担当室・2係〕
〃	〃	当直制による指揮隊及び火災原因調査業務の運用開始
〃	6月1日	8名団本部付として入団し、音楽隊活動を開始する。
〃	8月28日	仙台市で開催された第32回全国消防救助技術大会に斜めブリッジ救助1チーム5名が出場し入賞
平成16年	2月5日	応急手当普及車(天然ガス自動車)を導入 松戸市で第1号の圧縮天然ガス使用車
〃	4月1日	機構改革 消防局、消防署の組織及び事務分掌を改正 警防課と救急防災課を統合し、消防救急課を設置 方面本部を設置 企画管理室に財務担当室、消防救急課に救急担当室を設置 予防担当室を基幹消防署から方面本部へ改編 〔1局・1室・3課・3方面本部・10消防署・5担当室〕
〃	4月24日	「松戸消防50周年記念」消防まつり(訓練センター)
〃	8月31日	消防車両検討委員会設置 ・車両配置基準検討部会 ・車両平準化検討部会

## 松戸市消防のあゆみ

平成16年	10月1日	消防経営会議設営(松戸市消防局会議運営要綱施行)
〃	〃	危機管理体制の強化(夜間・休日における危機管理担当者当直制度導入)
〃	10月27日	新潟県中越地震に緊急消防援助隊千葉県隊として4隊16名を派遣
平成17年	1月7日	全国初の消防救急車が運用開始となる。
〃	4月1日	テクニカルリーダー制度の制定
〃	〃	松戸市消防職員相談員制度の制定
〃	〃	松戸市消防職員親睦会発足
〃	4月27日	松戸市消防局職員行動規範公布
〃	5月19日	全国消防長会救急委員会の開催
〃	6月1日	松戸市消防局ホームページリニューアル
〃	10月14日	松戸消防安全の日の制定
〃	11月8日	消防職員趣味の展示会を開催
〃	11月9日	携帯電話からの直接受信方式へ移行
平成18年	2月3日	防災トレーナー制度の制定
〃	2月9日	第47回千葉県消防職員意見発表会最優秀賞受賞
〃	4月1日	「消防救急なんでも相談電話」開設
〃	4月22日	消防まつり(訓練センター)
〃	4月28日	第29回全国消防長会関東支部消防職員意見発表会最優秀賞受賞
〃	6月7日	第29回全国消防職員意見発表会関東支部代表として出場
〃	8月24日	札幌市で開催された第35回全国消防救助技術大会に引揚救助、障害突破、ロープブリッジ救出、3チーム、14名が出場し入賞
〃	9月9日	民間患者等搬送事業所として4事業所を認定(松戸市初)
平成19年	1月19日	千葉県消防広域応援隊第4ブロック方面隊合同訓練(訓練センター)
〃	2月15日	第48回千葉県消防職員意見発表会最優秀賞受賞
〃	3月16日	「松戸消防安全の日」記念碑除幕式
〃	4月1日	第16代消防局長に塚越 凧就任
〃	8月22日	東京都で開催された第36回全国消防救助技術大会に障害突破、1チーム、5名が出場し入賞
平成20年	2月1日	119番入電時にAED設置事業所案内を開始
〃	4月1日	第17代消防局長に溝田 猛就任
〃	4月26日	「松戸市制施行65周年記念」消防まつり(訓練センター)
〃	8月29日	北九州市で開催された第37回全国消防救助技術大会に引揚救助、障害突破、2チーム、10名が出場し入賞
平成21年	4月1日	第18代消防局長に佐久間 峰男就任
〃	4月1日	指令課にシステム担当室を設置
平成22年	4月1日	第19代消防局長に片平 紀行就任
〃	〃	機構改革 消防局、消防署の組織及び事務分掌を改正 企画管理室の財務担当室を廃止し、消防総務課を新設 〔1局・1室・4課・3方面本部・10消防署・5担当室〕
〃	〃	消防局に指揮隊を設置(2交替制)
平成23年	3月11日	東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊派遣(3月14日～岩手県陸前高田市・福島県)
〃	4月1日	第20代消防局長に佐藤 博俊就任

## 平成 24 年度 消防年報

発行日 平成 24 年 5 月

編 纂 松戸市消防局 消防総務課

〒270-2241

千葉県松戸市松戸新田 114-5

TEL047-363-1111(代表)

FAX047-363-1121

URL : <http://www.city.matsudo.chiba.jp/matfd/>

E - mail : [mcfdsoumu@city.matsudo.chiba.jp](mailto:mcfdsoumu@city.matsudo.chiba.jp)